

田辺市・橋本市での NPO 出張相談

和歌山県 NPO サポートセンターでは以下の2カ所で毎月1回、NPO 出張相談会を開いています。NPO 法人設立・運営・役員変更・定款変更・認定 NPO 法人等に関する様々なご相談を受け付けています。ご利用は無料ですが、事前に各センターへ団体名・相談内容等をお知らせいただき、予約をお願いします。なお、1件あたりの相談時間は1時間以内です。

田 辺 市

田辺市市民活動センター

- 相談日：原則毎月第2金曜日の10時半～16時
- 場 所：田辺市民総合センター 2F
- 相談予約電話番号：0739-26-9833 (FAX 同番号)
- 対 象：田辺市を中心とした紀南エリアで活動中、または活動しようとする団体

- ★日程は施設休館日等により、変更になることがありますので必ずご予約ください。
- ★上記とは別に、オンラインによるご相談、概ね5名以上のグループを対象とした県内出張 NPO 相談も実施しています。

橋 本 市

橋本市市民活動サポートセンター

- 相談日：原則毎月第2水曜日の10時～16時
- 場 所：橋本市保健福祉センター 2F
- 相談予約電話番号：0736-33-0088 FAX：0736-33-0095
- 対 象：原則として橋本市内に拠点を置き活動中、または活動しようとする団体

和歌山県 NPO サポートセンターからのお知らせ

■活動をブラッシュアップ！NPO・ボランティア交流会

「活動を始めたばかりで何をやっていいか…」「活動がマンネリ化してきて…」「仲間を集めたいんだけど…」NPO・ボランティア団体の活動を進めるのに悩みはつきもの。みなさんの活動のお悩みを共有し、解決策をみなさんと探しませんか。

- 【日 程】1月20日(土) 13:30～15:00
- 【場 所】和歌山ビッグ愛9階会議室C
- 【対 象】和歌山県内のNPO・ボランティア団体
- 【講 師】貫名 茜さん(NPO 法人ホッピング理事長)
- 【参加費】無料
- 【定 員】20名(定員になり次第締め切り)
- 【備 考】お子様連れでの参加もOKですが託児サービスはありませんのでご了承ください。



■NPO 事務局セミナー・事務力検定 2024

NPO 法人の運営に関する知識を幅広く習得することができる「NPO 事務局セミナー」と、学んだ知識をもとに腕試しができる「NPO 事務力検定」。今年度も各地のNPO 支援機関と連携して開催します。

- 【日 程】2月2日(金)・2月4日(日) 各10:00～17:30
- 【場 所】和歌山ビッグ愛9階会議室C
- 【対 象】和歌山県内のNPO 法人、NPO 法人設立を目指している方など
- 【講 師】志場 久起(和歌山県 NPO サポートセンター長) ほか



NPO に関するご相談は

和歌山県 NPO サポートセンター (県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F)
TEL: 073-435-5424 FAX: 073-435-5425
メール: info@wakayama-npo.jp URL: https://www.wakayama-npo.jp/
受付時間: 火曜日～土曜日 9:00～20:50
日曜日 9:00～17:30
休館日: 月曜日・祝祭日・年末年始(12/29～1/3)
【指定管理者: 認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター】

和歌山県環境生活部 県民局 県民生活課 県民活動団体室
(和歌山県庁本館 2F)
TEL: 073-441-2053 FAX: 073-433-1771
メール: e0313002@pref.wakayama.lg.jp
URL: https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/npo/

[本紙は古紙再生率70%以上の再生紙を使用しています]

和 になろう 県内で市民活動を行う団体や人を紹介します NO.71 一般社団法人うつほの杜学園設立準備会 (田辺市)

豊かな自然、温暖で恵まれた気候、世界遺産である熊野古道を筆頭に地域に根付いた歴史、それらを活かした探究型学習や多言語教育を掲げる「うつほの杜学園設立準備会」。田辺市と地域住民との共創により、中辺路町で新しい小・中学一貫私立校設立を目指しています。

発起人の仙石恭子さんは東京、イタリアで長年働きながら子育てをするなかで、地元の和歌山に移住しようと思った時、地方の教育選択肢があまりに少ない現状に気付いたそうです。「無いなら自分で造ろう!」と決心し、2021年2月に活動がスタートしました。



再活用される旧三川小学校校舎

教育の理念

うつほの杜学園は自分で未来を切り拓くことのできる子供の育成を目標に掲げた探究型グローバル教育を実現するための学校です。「グローバル」とは、「global(世界)」と「local(地域社会)」を合わせた造語で、両方の視点で物事を考えながら行動できる子供を育てることを目指します。世界・地域社会・自然界とつながり、総合的な学習プランを中心にして「自分で学ぶ力」を伸ばしながら、「関係力」「探究力」「創造力」を育むためのカリキュラムを導入予定。日本語と英語のバイリンガル教育、食学、フィールド体験に力を入れ、サステナブルやウェルビーイングといった考え方を大切にした教育を実践する計画です。夏には説明・体験会を兼ねたサマースクールを開催し、70名以上の親子が参加し、好評を得ました。

閉校となった小学校を再活用

学園は、かねてから地元地域と行政がどう活用するかを模索してきた閉校後の三川小学校跡地で開設されます。新耐震基準



準備会の皆さんと代表の仙石恭子さん(右から2人目)

を満たしている旧校舎をリフォームして再活用、準備会からの新しい学校づくりについての提案に地元町内会も歓迎ムードです。田辺市、周辺地域住民のみなさん、準備会と三者協定を結んで準備を進めており、新たな学校設立が過疎化の進む地域の活性化につながることを期待されています。教育を目的にした都市部からの移住者も見込んでおり、1学年の定員は25名で、最終的には小学校150名と中学校75名の定員を予定しています。

地域に根付きながら世界で活躍できるように

今後は学校設置に関する認可の手続きなどを経て、2025年度に小学校、2029年度に中学校の開校を目指し、着々と準備を進めています。最終的には、学園に通う子どものみならず、サマースクールや学童保育、短期スクールなど一人でも多くの子供に探究的でグローバルな学びの機会を提供する構想もあるとのこと。世界中の人々と日本人が国境、世代、社会の壁を超えて学び合い、成長していくことのできる未来を目指して、この和歌山の地から素晴らしい取り組みが始まっています。



サマースクールでの記念撮影

一般社団法人うつほの杜学園設立準備会
〒646-1417 田辺市中辺路町川合1451
https://utsuho-academy.com/ info@utsuho-academy.com

INDEX

表紙：一般社団法人うつほの杜学園設立準備会

p.1：特集 広がる「地域運営組織」

p.2：新規設立 NPO 法人、助成金&公募情報

p.3：和歌山県 NPO サポートセンターからのお知らせ

特集 広がる「地域運営組織」

NPO やボランティア団体に限らず、地域の自治会・町内会、PTA、老人会など、様々な組織で「担い手不足」が叫ばれるようになってきました。そんななか、地域の組織のあり方をみなおし「地域運営組織」結成を目指す動きが和歌山県内でもみられるようになってきました。

深刻化する「担い手不足」

「担い手不足」は NPO やボランティア団体などのテーマ型組織でも、自治会・町内会など地縁型組織でも共通して指摘されるようになってきました。

様々な原因が考えられていますが、テーマ型・地縁型双方に共通して、ここ 20 年ほどの間で共働き世帯が大幅に増加し、日中に地域で活動できる人が極端に減っていることが大きいと考えられています。加えて地縁型組織では、求められる業務量が年々増加し、その負担感が担い手不足に拍車をかけているのでは、という指摘も。また、生活スタイルは多様になっているのに、多くの組織の運営方法は従来とあまり変わらず、時代に即していないという声も聞かれます。

担い手が減少する組織は、スタッフの固定化・高齢化が進み、いっそう活動が落ち込んでいくスパイラルに陥る懸念があります。

組織のあり方を見直す動き

地方自治体を対象に行われたアンケートでは、多くの自治体が、町内会等の担い手不足を大きな課題だと考えています。

一方、自治体が町内会等に今後期待することとして、「防災」や「地域福祉」など、これまで町内会が必ずしも担っていなかった活動が回答の上位にきています。自治体が町内会等に期待する役割が変わってきていることがうかがえます。

そうしたなか、総務省などは「地域運営組織」の考え方を打ち出し、地方自治体に対して導入を促しています。

総務省が取りまとめているアンケートでは、自治会や町内会の枠を超えて結成されている地縁組織全般を「地

市区町村が考える町内会の課題	
役員・運営の担い手不足	86.1
役員の高齢化	82.8
近所付き合いの希薄化	59.2
加入率の低下	53.3
行政からの依頼事項の多さ	36.2
(n=1142、複数回答、単位%)	
内閣府男女共同参画局「持続可能な自治会活動に向けた男女共同参画の推進について（平成29年3月）」	
市区町村が町内会に今後期待すること	
防災・危機管理	58.6
地域福祉	49.6
環境（清掃、ゴミ、環境保全等）	33.8
住民相互の連絡	26.9
地域の祭り・イベントに関すること	24.1
行政からの連絡事項の伝達	20.7
空き家問題	20.0
集会所の維持・管理	11.0
(n=464、複数回答、単位%)	
公益財団法人日本都市センター「コミュニティの人材確保と育成ー協働を通じた持続可能な地域社会ー」	

域運営組織」と位置付けており、和歌山県内では過疎対策のために結成された組織など 58 団体あるとされています（昨年9月現在の総務省まとめ）。

ただ、現在各地で求められている「地域運営組織」はもう一步踏み込み、概ね中学校もしくは公民館の区域ごとに地域の各種団体を束ねたりネットワークを組んだりして、個々の団体の負担を軽減しつつ、住民のみなさんが主体的に地域活動に取り組める環境整備を目指すケースが多くみられます。過疎地域などを中心に「小規模多機能型自治組織」などとよばれることもあります。

和歌山県内でも動きが

現在、和歌山県内では橋本市と田辺市でこのような「地域運営組織」の組織化を図る動きが進められています。

橋本市では公民館区ごとに組織化されている「生活支援体制整備事業・第2層協議体」を発展させて地域運営組織の機能を付与する手法が、田辺市ではまずモデル地区を設定し、その地区内の様々な団体が協議をしながら新たな地域づくり組織の形成を目指し、徐々に市内に広げていく手法が、それぞれ進められています。

まだ整備途上のため、どのような組織になるかは未定ですが、地域内の様々な組織や事業者等が連携し、住民のみなさんの困りごとを有償・無償ボランティアが解決する仕組みづくり、住民のみなさんが参加しやすい組織づくりなどが想定されています。組織体としては NPO に極めて近い形態になる可能性が高くなっています。

このような動きは県内各地に広がる可能性があり、現在地域で活動している NPO・ボランティア団体も地域づくりの担い手としての役割が期待されます。地域の将来を地域の住民の手で切り拓くことを目指す「地域運営組織」の動向に要注目です。

田辺市が想定している地域運営組織の例

部門	主な担い手
総務部門	●連合自治会 ●自治会・町内会
健康福祉部門	●社会福祉協議会 ●老人クラブ ●民生児童委員
防犯防災部門	●自治会・町内会 ●消防団 ●自主防災組織
教育・子育て部門	●こども会 ●PTA ●学校 ●校区協議会 ●青少年育成協議会
まちづくり部門	●事業者 ●NPO ●自治会・町内会

※あくまで例示であり、地域の実情に応じて部門や担い手は異なります

新規設立 NPO 法人

◎NPO 法人なごみ学童保育所（上富田町）
2023年10月11日認証 代表者 前地知世
学童保育所の運営をおこないます。

◎NPO 法人翼の学校（和歌山市）
2023年12月1日認証 代表者 畠中純志
現代の子供達は、簡単に情報が手に入った事により、他者との比較の中で苦しんでいます。誰にも理解されないと悩む子供達や、

助成金 & 公募情報

紀の国森づくり基金活用事業

紀の国森づくり税条例、紀の国森づくり基金条例の趣旨に合った森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する事業を募集します。

【対象】 和歌山県内に事業所または営業所を有する法人、その他団体

【対象活動】 ①森とあそぶ・まなぶ、②森をつくる・まもる、③森をいかす、④提起、の4つのテーマのいずれか、もしくは複数にまたがる活動

【対象経費】 報償費、旅費、需用費（消耗品・燃料・印刷製本・用具等）、役務費（通信運搬費・傷害保険料等）、資材費、原材料費、委託費など

【補助金額】 10/10以内もしくは定額（費目により異なります）かつ1団体あたり20万円以上200万円以内。

【締め切り】 1月12日（金）必着

【主催】 和歌山県森林整備課 緑化推進班
詳しくは「紀の国森づくり基金」のウェブサイトをご覧ください。募集要項・応募用紙のダウンロードができます。ご質問等は県庁森林整備課もしくは各振興局の林務課にお問い合わせください。

https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070700/kikin/koubou_jigyou.html

2024年度 地域コミュニティ支援補助金

【対象団体】 和歌山県内で活動している、ボランティアグループや市民団体、NPO 法人等

【対象分野】 ①福祉活動、②子育て支援活動、③食育活動、④環境活動、⑤その他社会貢献活動

【補助金額】 1団体10万円

【締め切り】 1月15日（月）必着

【主催】 わかやま市民生活協同組合

【備考】 詳細はウェブサイトをご覧ください。
https://www.wakayama.coop/torikumi/local_community/

2023年度 近畿ろうきん NPO アワード

【対象団体】 近畿2府4県に主たる事務所を置き、非営利の市民活動・ボランティア活動を行う NPO 法人と一般社団法人（非営利型）、法人格のない任意団体

【対象分野】 子どもの成長を応援する事業、子育て環境を整える事業

【助成金額】 50万円コース…3～4団体、10万円コース…3

このコーナーでは、前号発行以降に NPO 法人の新規設立認証を受けた NPO 法人をご紹介します。

自分の個性を主張できない子供達がコミュニティの中で安心して自分らしさを出していけるような空間作りを目指しています。
TEL 080-2566-0677 E-mail jimukyoku@tsubasanogakko.org
URL <https://www.tsubasanogakko.org/>

◎NPO 法人あのと（白浜町）
2023年12月5日認証 代表者 原田晃
介護保険事業やホスピス等の運営をおこないます。

～5団体

【締め切り】 1月31日（水）必着

【主催】 近畿労働金庫

【備考】 詳細はウェブサイトをご覧ください。
https://www.rokin.or.jp/npo/npo_award/

第23回わかやま環境賞

県内において優れた環境保全活動を行う個人又は団体を表彰します。

【表彰対象】 和歌山県内に活動の拠点があり、環境保全に関する活動を行っている個人又は団体
◆応募例・・・地球温暖化対策活動、環境教育・環境学習、まちの美化・清掃活動、環境に配慮した技術・製品開発、資源の再利用・リサイクル活動 など

【応募方法】 所定の応募用紙に記入の上、下記提出先に郵送又は持参

【提出先】 和歌山県環境生活総務課または和歌山県各振興局 衛生環境課（串本支所は保健環境課）

【締め切り】 2月29日（木）必着

【主催】 和歌山県環境生活総務課
詳しくは和歌山県環境生活総務課ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/award/d00202786.html>

【各種情報はメールマガジンでも配信中！】

和歌山県 NPO サポートセンターに届くイベント情報や助成金情報等を毎月1日・15日（休館日等と重なる場合は翌開館日）に発行しているメールマガジンはこちらの QR コードから配信登録ができます。または info@wakayama-npo.jp へ配信を希望するメールアドレスをお知らせください。

みなさんからのイベント情報もお待ちしています。和歌山県 NPO サポートセンターまでメールまたは FAX 等でお知らせください。なお、メールでチラシ等の電子データをお送りいただきましたら、そのデータをそのまま情報ブログに掲載させていただきます。ぜひご活用ください。

■ NPO データベース登録団体募集中！

和歌山県 NPO ホームページ「わかやま NPO 広場」に設置している NPO データベースでは掲載団体を随時募集しています。和歌山県内で活動する NPO・ボランティア団体の情報の掲載を受け付けています。現在登録されている団体についても記載内容等に変更がある場合、追加したい情報がある場合もお気軽にお知らせください。

